

DEW
stream 2011

Planning, Design, and Consulting
SHIMIZU CORPORATION

vol.71

HP Garage Tokyo	02 - 05
TOYOSU CUBIC GARDEN	06 - 09
SIA TOYOSU PRIME SQUARE	10 - 11
DAIKOKU DENKI HEAD OFFICE	12 - 13
NISSAY IKEBUKURO BUILDING	14 - 15
NIHONBASHI HONCHO MK - SQUARE / D - COMPANY EXECUTIVE FLOOR	16 - 17
IZU VELODROME	18 - 21
RYUTSU KEIZAI UNIVERSITY HEALTH&SPORT SCIENCES CENTER	22 - 23
NISSUI TOKYO INNOVATION CENTER	24 - 25
AMADA TOKI WORKS	26 - 27
PARK MANSION MITA HYUGAZAKA	28
TKP	29
KOMATSU AOJI DORMITORY	30 - 31
TSUJINAKA HOSPITAL kashiwanoha	32 - 33
AEON MALL KOFUSHOWA	34 - 35
THE GATE OF HACHIMANDAI SHRINE	36 - 37
STRUCTURE DIAGNOSIS FOR THE EAST PAGODA IN YAKUSHI - JI TEMPLE	38
SENSOU - JI TEMPLE MAIN HALL	39
1st WEST BLD. REMM KAGOSHIMA	40
LA ROCHELLE SANNO	41
DENTAL PLAZA FUKUOKA	42 - 43
SHIMIZU CORPORATION HEAD OFFICE	44 - 45
SHIMIZU eco BCP	46 - 47
THE ENVIRONMENTAL ISLAND GREEN FLOAT	48 - 49
PROMOTION OF RE - DEVELOPMENT PROJECTS	50 - 51
STUDY ABROAD	52
UNDER CONSTRUCTION PROJECT	53
stream DEW TREEHOUSE WORKSHOP	53
DATA OF WORKS · stream DEW MEMBER	54 - 56

DEW

stream 2011

特集：近作プロジェクト

vol.71

日本HP本社	02 - 05
豊洲キューピックガーデン	06 - 09
SIA 豊洲プライムスクエア	10 - 11
ダイコク電機本社ビル	12 - 13
ニッセイ池袋ビル	14 - 15
日本橋本町 MK-SQUARE ／ D社エグゼクティブフロア	16 - 17
伊豆ベロドローム	18 - 21
流通経済大学 スポーツ健康センター	22 - 23
日本水産 東京イノベーションセンター	24 - 25
アマダ土岐事業所	26 - 27
パークマンション 三田日向坂	28
東京港湾福利厚生センター	29
コマツ青路寮	30 - 31
辻伸病院 柏の葉	32 - 33
イオンモール甲府昭和	34 - 35
八幡大神社 標門	36 - 37
国宝薬師寺東塔 構造診断	38
浅草寺本堂 外部改修工事	39
第1West BLD. レム鹿児島	40
ラ・ロシェル 山王	41
デンタルプラザ福岡	42 - 43
清水建設 新本社プロジェクト	44 - 45
時代が求める シミズecoBCP	46 - 47
環境アイランド グリーンフロート	48 - 49
再開発事業の推進	50 - 51
海外留学について	52
建設中のプロジェクト	53
stream DEW ザリーハウスワークショップ	53
作品データ・stream DEW 委員一覧	54 - 56



HP Garage Tokyo
日本HP本社



世界最大のグローバルIT企業、ヒューレット・パッカード(以下HP)の日本法人、日本HPの新本社。都内5箇所に分散する約6,000人の社員を集め。社員の約7割はモバイルワーカーである。モバイルワーク中心の社員が集まる意味を見い出すことができるワークプレイスを創り出すとともに、環境負荷を大幅に削減することがテーマ。人と人との出会い、交流が芽生え、コラボレーションが活性化し、新たな価値が生まれる。そのような空間創りを目指した。

社員の移動を促し、コミュニケーションを誘発するために、フラットでシームレスな大空間が求められ、フロアプレートをサッカー場と同規模の約100m×55mとした。建物を南北に貫くコリドー・階段・エレベータの結節部に大小3つの吹抜けを配置し、全フロアを動線・視覚的に連結した。センター ポイドは、あえて複雑に入り組んだヒダのある形状として適度な開放感・囲われ感を創り出した。光が注ぐ周囲のカウンターには自然と人が集まり、上下の視線が交差し、各階のアクティビティを瞬時に感じ取れるスペースとなっている。各吹抜けは自然換気、および排気にも利用している。

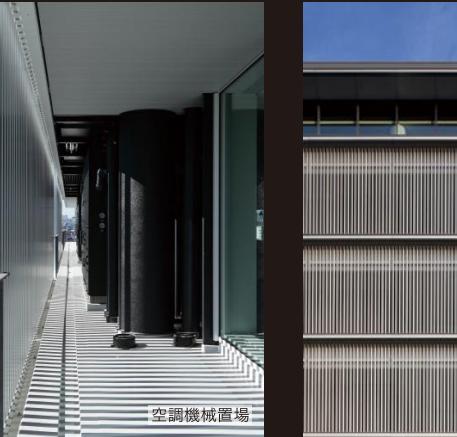
新聞 英一
佐藤 剛也



軒庇を使った外装

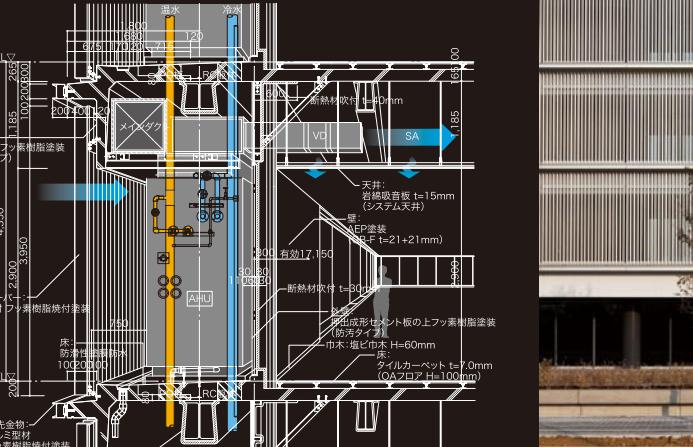
外装回りは日本の風土に適した軒庇・縁側の要素を取り入れ、庇を各階外周に設置した。庇は日本のような夏季に高温・多雨となる温暖湿潤気候では直射・降雨を遮ける作法として有効である。眺望の良い公園側の42mワイドのバルコニーは、内部の「E-Club」と呼ばれるインフォーマルコミュニケーションスペースと一緒に化し、タッチダウン、ミーティング、リフレッシュのスペースとなっている。庇は執務空間への直達日射のコントロールだけでなく、空調機械置場、メンテナンススペースとしても機能する。空調機を庇上に設置することにより、この規模での全外気冷房を可能とし、環境負荷を大幅に低減させると同時に、風が通り抜ける快適な室内環境を実現した。連続する水平庇は、陰影のある日本建築的な外観を生み出すとともに、ボリューム感、および近隣との視線干渉の緩和の効果をもたらし、周辺環境との調和に貢献している。

新聞 英一 小林 靖

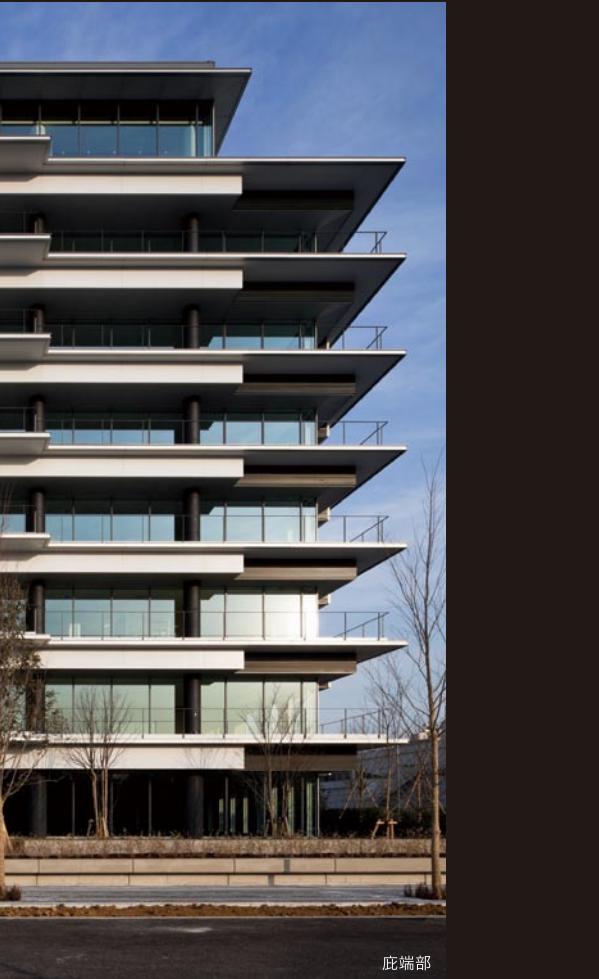


バルコニーから公園を望む

空調機械置場



空調機廻り断面詳細図



庇端部



基準階平面図



壁のあるセンター VOID

同一平面形を各階ごとに回転させて適度な開放感・囲われ感のあるスペースを創り出した。これらにより上下階への見通しも確保、各階の人の動きを感じ取ることができる。カウンターは木集成材とし手摺・コーナー・独立カウンターと3タイプを用意して様々な用途に対応。更に連絡階段、レストルーム、会議室等を設置することでHP新社屋のリビングルームのスペースとした。

小林 央和 代田 哲也

全風量外気冷房システム

今回空調計画では、1フロアを8方にゾーニングした全熱交換器内蔵空調機を各方位の屋外バルコニーに分散設置してスパン毎にVAV制御した空調空気を供給している。空調機をバルコニーに外部設置したことで外気導入を最小の搬送動力で空調機能力最大まで可能としている。室内へ供給された外気は、3つのボイドを利用して屋外へ排気する。また雨天時や強風時なども空調機に装備している全熱交換器用の還気ファンを利用し空調機で給気・排気を完結する外気冷房を行ことが可能。更に外気エネルギー利用の最大化を目標とし外気冷房可否の判断を各空調機毎で行い細分化した外気冷房システムの運用が可能となっている。

天田 靖佳 伊吹 富雄

構造計画

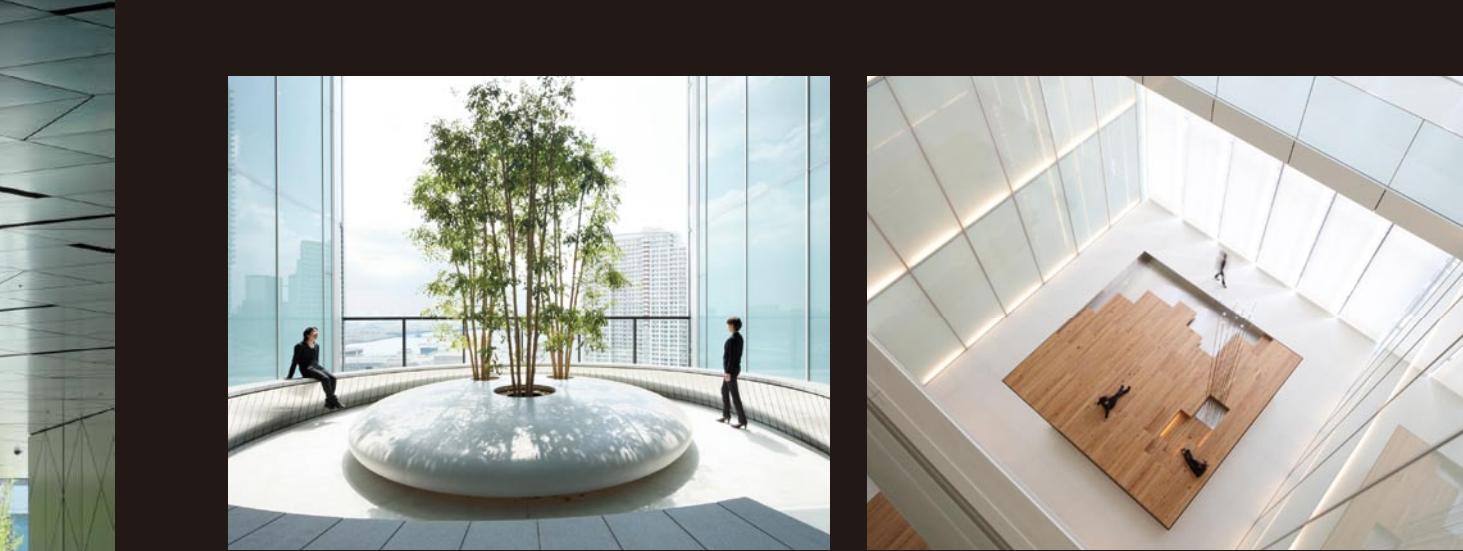
メイン架構はセンター VOIDを含むコア部分と事務室部分の外周によるダブルチューブでコア側にプレース型の鋼材系座屈拘束型制振ダンパーを組込んだラーメン架構とした。この建物の特徴である外周庇部分のキャンチレバースラブにはハーフPCを採用して精度を確保している。この外周庇内部のダクトを梁貫通無しで配置するために外周部の大梁は鉛直ハンチとしている。

平吹 雅弘

ランドスケープ

隣接する猿江恩賜公園と横十間川を連続一体化することをテーマとして計画した。

山田 邦夫



TOYOSU CUBIC GARDEN
豊洲キューピックガーデン



豊洲キューピックガーデンは第一生命保険株式会社が事業主のテナントビルである。建物は間口76m 奥行き89m高さ75mの中層オフィスであるが、最大の特徴はフロア1,500坪のオフィスをテナントオフィスの原則ともいえる無柱空間に拘らず、あえて柱を有し、間口75m奥行き72mを一望できる広大な空間を実現していることである。広大なオフィスはとかく無機的で非人間的なスケールとなりがちであるが、オフィスワーカーが心の拠り所とし安心感を得るスペースをビル内各所に設えている。

フロア1,500坪のオフィスに貫入するボイドには、プライベート感覚で利用可能な吹抜けラウンジを数層ごとに設け、オフィスのアメニティ空間として光の移ろいや緑のゆらぎや木質の香りといった五感に働きかける仕掛けを組み込んでいる。また、建物外周や屋上、オフィス内のテラスラウンジには積極的に緑化を行い、それは敷地全体の40%及びビルユーザーの憩いの場となっている。また、高層棟屋上や低層棟屋上に配した緑は、周辺からの緑視率を高め、周辺住民の方への景観上の配慮となっている。緑豊かなガーデンが各所に配されたオフィス。

豊洲キューピックガーデンの名の由縁である。

第10回 芦原義信賞 優秀賞
第24回 日経ニューオフィス 推進賞

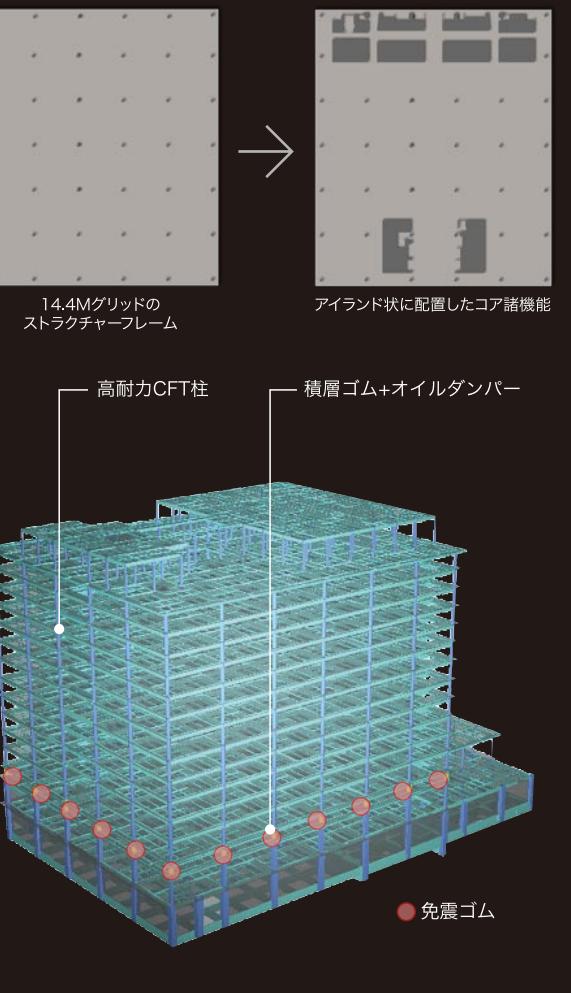
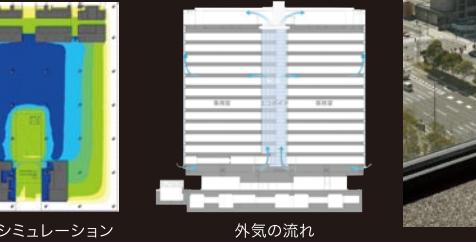
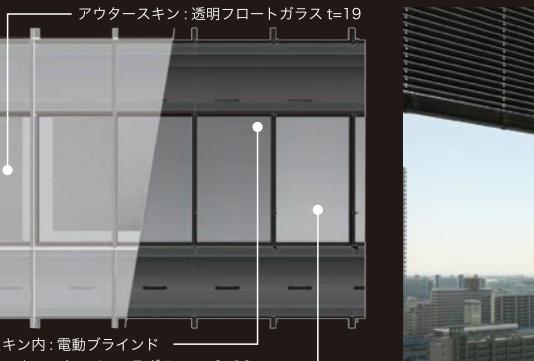
鼻戸 隆志

大空間でありながら開放感のあるオフィスと熱負荷低減の両立を追求し、全層型のダブルスキンを採用。最下層は常時解放し、最上部には電動式開閉パネルを設置。夏場は内部に設けた電動ブラインドの受けた輻射熱を最上部から放出するが、各層にてオフィスの排気をダブルスキン内に行することで上層部の温度上層を抑える機構となっている。一方、冬場は最上部パネルを閉じ、断熱性を高める構造とし、年間を通じ空調負荷を抑えている。

笠原 真紀子

オフィス外周部・中央吹抜けは、フルハイトの開口により、最大限自然光を取り込み、有効活用を行っている。オフィス部は照度センサーによる自動調光を行い、共用廊下及びトイレ等についても目中においては人工照明を必要としないプランニングとしている。また、ブラインドは中央からの制御により、4段階の角度で常に最小限の閉鎖角になるよう制御されている。広大なオフィスのため、照明はスイッチに依存しない人感センサーによる自動点滅とし、不在エリアは減光制御、消灯制御を可能とし、利便性と省エネ性に配慮した。また、不在信号をBACnet経由で空調運動を行い、さらなる省エネを実現している。

伊藤 靖



「76m×89m」このフロアプレートを支持するストラクチャーフレームは、オフィスを一望でき、ワークプレイスにおけるフレキシビリティを最大限に確保すべく900φのコラムを14.4mスパンで配置することで構成している。フロアプレートはあくまで1枚プレートであり、パブリックスペース含め3mの天井高さで統一された空間は、このスケールに見合ったゆとりと一体感を許容している。シャフト等のコアボリュームはあえてアイランド状とし、外周部の縁側空間には明るく開放的なアメニティ空間を配置している。ワークプレイスは柱を拠り所とした14.4mモジュールのユニットを形成し、大空間オフィスにおけるヒューマンスケールの創出を意図した。交差するデスクレイアウトは視覚的な効果からコミュニケーションの誘発を意図し、縁側空間であるベリメーターエリアにはリフレッシュやオープンミーティングを配置し、離壇のないユニバーサルレイアウトをモデルプランとして提案している。

10
vd.71

vd.71

11
vd.71

SIA TOYOSU PRIME SQUARE
SIA 豊洲プライムスクエア



豊洲中心地区に建つオフィス+店舗の複合施設の
計画である。
60mキューブというミニマルな形状はそれ
ぞの面が対峙する環境に呼応したデザインとなっ
ている。エントランス壁面のテラコッタは、一つのか
たちの部材が様々な環境との関係の中で多様な風
景を生んでいる。

LESS MAKES MORE

~「ひとのかたちとひとのしきみ」

この建物は従来の要素の組合せのなか、できるだ
け少なくシンプルな要素によって、より豊かな空間
や表現を生み出すことを狙っている。

このコンセプトは単独の建物では達成できず、自
然の変化や周辺の環境変数を建物に積極的に組
み込むことから始まっている。

そして、それは我々が豊かさを発見するためのデ
ザインの仕組みでもある。

2011年度グッドデザイン賞
JCDデザインアワード2011入選(BEST100)
第45回 SDA賞入選

DDA賞2011入選
平成22年度照明普及賞
IES Illumination Awards 2011 Section Award

牧住 敏幸

柳原 勝也

12
vd.7113
vd.71

DAIKOKU DENKI HEAD OFFICE
ダイコク電機本社ビル



計画当初より消費エネルギーを抑えるアイデアに
関心が高かったダイコク電機の要望に応え、日射
ができるだけコントロールし、1年を通して一部の期
間・時間帯を除き、照明に頼らず自然光による執務
が可能であることを目指して建物全体を計画した。

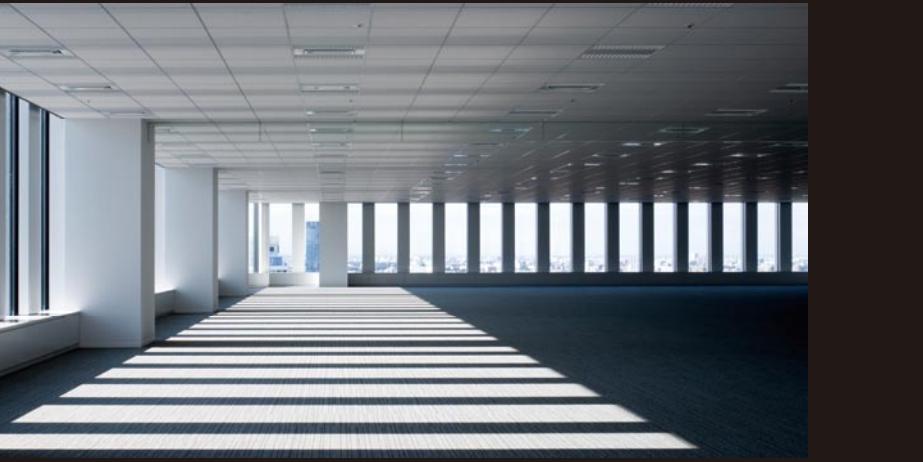
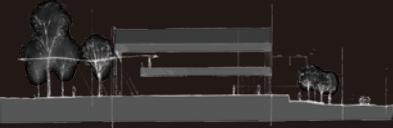
具体的には、圧迫感のないように1,200mm間隔
で設置した正面の白い縦ルーバーと水平庇の混
合により直接光を遮蔽し、フルハイドの窓から白い
縦ルーバーの間接拡散光を、奥行きの深い事務所
の奥まで取り入れた。照明は自動で減光・消灯す
るようコントロールし、更に階ごとにタスクアンビ
エンントの照明モードも選択できるようにしている。

エントランスは、縦ルーバーの意匠を継承しつつ
天然木を使い、企業イニシャル“D”と“K”的文字断
面のパースによる可視・不可視の複数スクリーン
で構成し、アプローチ景観を演出した。

長嶺 博
熊谷 澄雄



NISSAY IKEBUKURO BUILDING

14
vd.7115
vd.71NISSAY IKEBUKURO BUILDING
ニッセイ池袋ビル

日本生命と当社が共同事業主となり進められた開発。四面道路の一街区の敷地で、総合設計制度を活用し敷地のポテンシャルを最大限活かす計画とした。周囲に緑化された歩道とポケットパークを設け容積率を240%引上げ、その中に整形な平面プレートの建物を配置した。

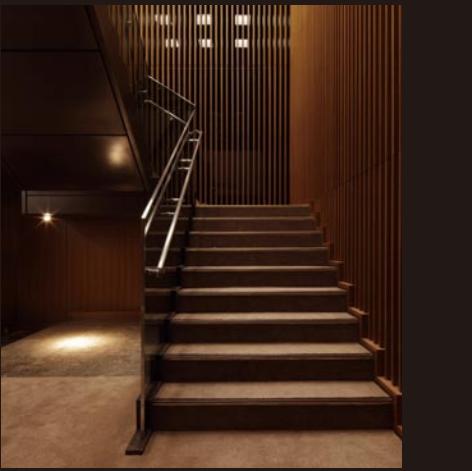
四面ファサードで周囲の建物より突出して高い建物となるため、端正で高さを強調する縦連窓でファサードを構成した。

また、副都心池袋にあって都心部に引けを取らないグレードのテナントビルを作ることが求められ、外装にサッシュ打込PCを用いた。1,200ピッチで石張りの柱型を設置し、影の深いファサードを構成することにより、環境性能の確保しながらグレード感を持たせた。

内装は外装のモノトーンをベースにしながらも1FのELVホールに大胆に本物の木を使うなど、各所に温かみのある素材をポイントで用いた。また、エントランスに配した木の家具や壁が、前面のグリーン大通りの樹木と後方に設けたポケットパークの樹木を緩やかにつなげることを意図した。

東田 淳行
内藤 純

D-COMPANY EXECUTIVE FLOOR
D社 エグゼクティブフロア

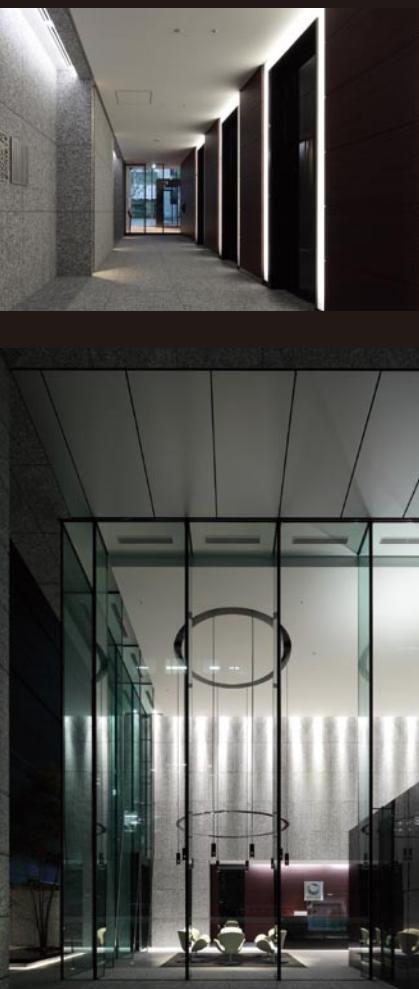


グローバルな活動を繰り広げるD社が、日本人の伝統と文化が残る日本橋本町の当オフィスへ本社機能を集約した。

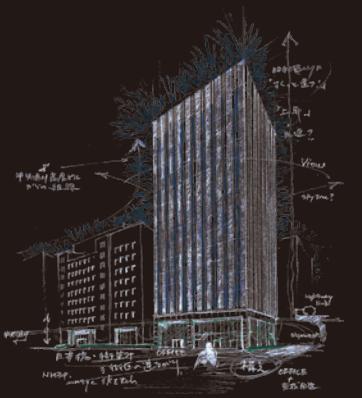
機能性だけでなく日本人の持つ文化を育んだデザイン…そんな思いを「木格子」と「障子をイメージした光天井・ケースメント」を随所に用いモダンな空間と融合させた。

格調さと暖かみを感じる木の框意匠と、格子の持つ透通による広がりや奥行き感のある空間。ファブリックは木質と同じく暖かみを感じる素材。ベージュとブラックのクールな色合い。ナチュラルな素材感とカラーガラスなど写り込む素材のコントラスト。これらがエグゼクティブ空間に、心癒し上質で落ち着きのある空間とした。

並木 良一



NIHONBASHI HONCHO MK-SQUARE
日本橋本町 MK-SQUARE

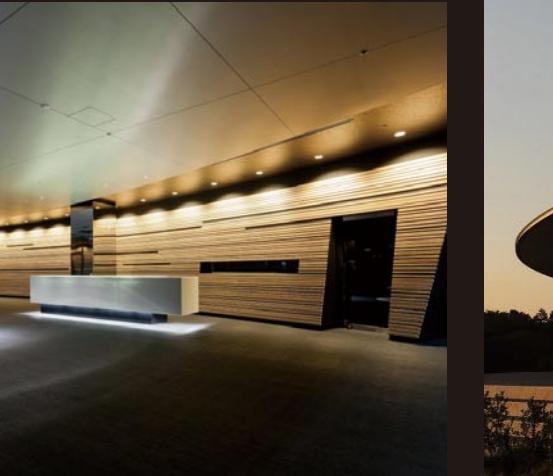


「伝統と先進」・「品格と個性」
常にこのコンセプトを念頭に臨んだ。

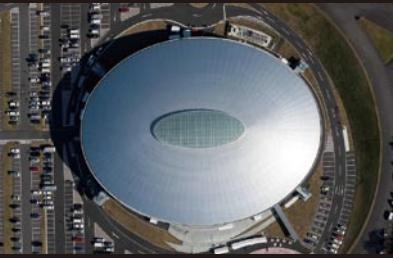
日本橋の街並みとの調和を図った重厚感ある石貼りのゲート状低層部とオフィス高層部とは、隣接ビルのファサード構成を意識した高さで明快に分節した。高層部は石打込PCとガラスを縦ストライプに配置した。昭和通りに面した広がりのある空に向い上昇するデザインに「先進」の意図を託し、サッシに付けたフィンを石面から跳ね出させ、奥行きと光の綾を持たせた。

内部は、人をもてなす空間づくりと素材セレクトの他、日本の伝統文様を現代の技術で表現したアートやサイン等で、コンセプトの実現を図った。隣接するビルの企業が本社ビルとして入居することでユーザーの顔が見える事業ビルとなった。事業者、PM、入居企業と共に築き、思いの詰まったビルが完成した。

見角 基一郎

18
vd.7119
vd.71

IZU VELODROME
伊豆ペロドーム



日本初の屋内型木製250mトラックを有する本施設は、自転車競技の普及と世界レベルの選手の育成・強化を目的に計画された。

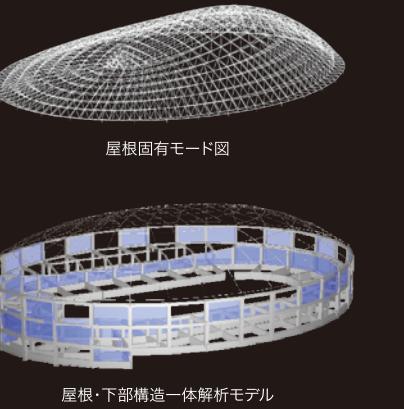
球面トップライトから自然光が射す120m×90mの楕円形ドームは、5,000ピースの鋼管と1,200の接合部からなる立体トラスを外周のRC造が支える構造形式。世界標準の木製トラックの周囲に1,800席の常設観客席を設置し国内大会にも対応している。また、1,200席の観客席等の諸設備を追加することで、世界選手権等も可能な施設として計画した。

木製トラックは、世界的に有名なドイツ人トラックデザイナーのラルフ・シューマン氏が担当。材料のシベリア松はドイツからの輸入品。施工にあたってもドイツ人スタッフと共同で造られた。

建築的にはシンプル・ダイナミック・軽快をモチーフに、自転車競技のスピード感や躍動感、そして45度の木製バンクのダイナミズムを活かしたひとが楽しむ空間づくりを目指した。

石原 政幸
端野 亮一

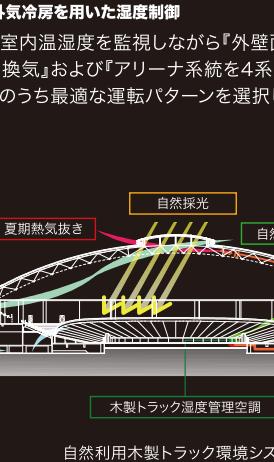
構造計画



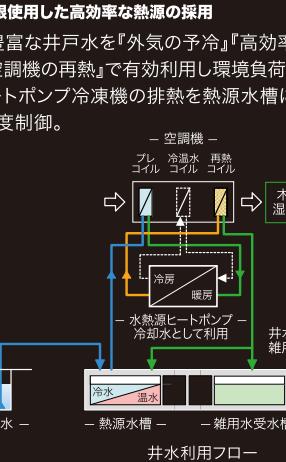
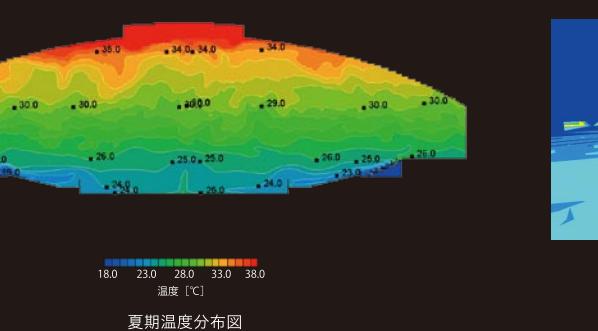
本建物の設計の最大のポイントは、屋根トラスの設計用地震力の設定と、それを支える2階の構円円周上の耐力壁付きラーメン架構の耐力壁配置計画であった。屋根トラスは、鉛直方向地震動の他、水平方向地震動によっても鉛直方向の地震力が作用する。また、下部構造の剛性の変化により、屋根トラスの応答値が変化する。屋根トラスと下部構造を一体とした解析モデルに対し、屋根トラス直下の耐力壁の配置をパラメータとした地震応答解析を行い、適切な屋根トラスの設計用地震力と耐力壁配置を決定した。

また、屋根トラス応力の下部構造への応力伝達については、固定荷重に対しては、屋根トラス支承をローラー支持として、スラスト力による下部構造への影響の軽減を図った。固定荷重載荷後は、支承部を固定し、トラスに生ずる地震力、風圧力、積雪荷重、温度荷重による応力を下部構造に伝達させる計画とした。

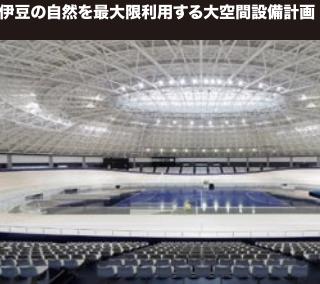
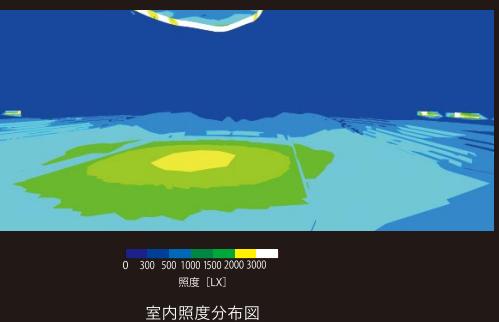
吉井 正行
佐藤 起司



効率的な居住域吹出し空調
シミュレーションによる空調最適化を検討し、インフィールド吹出し、座席吹出しで居住域、木製トラック部分の最小エネルギーでの温湿度制御を可能にした。



トップライトを用いた自然採光と安全性を確保した照明計画
頂部トップライト部からの自然光で、トラック床面照度:300LXを確保し、練習時の照明エネルギー削減を図った。また、練習時や大会時に1000LX、1400LX(仮設照明)の床面照度を確保できるようにしている。また、停電時対策としてUPSを設置し、100LXを5分間確保できるようにしている。



今回の設備計画の最も大切な点は、木製トラックの環境維持のためパンクエリアを相対湿度45%～65%の状況に納め、練習時・イベント時の適正な照度を確保することであった。

一方、エネルギーをなるべく使用しないことも同時に求められた。

そこで今回計画では、外気や井戸水など、伊豆の自然を最大限利用し年間を通じての環境負荷低減を実現した。

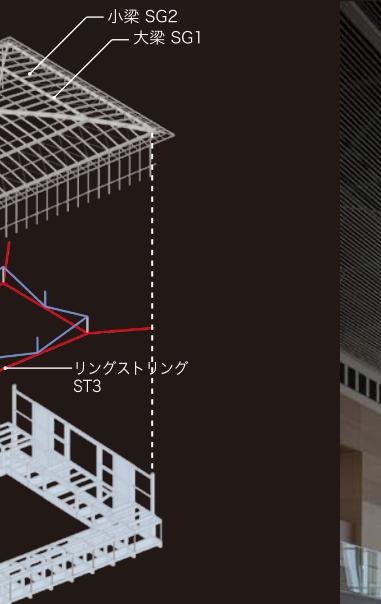
花島 真也
西村 秀生

国際自転車競技連合の規定をクリアし、世界選手権レベルの大会環境を提供できるシステムを構築するため、温熱・視環境のシミュレーション、現場での検証を重ね快適性、安全性、信頼性も同時に実現した。

中澤 公彦
阿津地 啓充



サブアリーナ



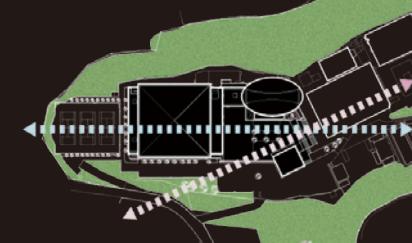
メインアリーナ：張弦ドーム構造



サブアリーナ：立体キール構造



RYUTSU KEIZAI UNIVERSITY
HEALTH&SPORT SCIENCES CENTER
流通経済大学 スポーツ健康センター



自然と交感する地域のコモン

本施設は、大小アリーナ・屋内プール・実習室等を備えたスポーツ実習施設であり、豊かな自然の中での地域住民との交流の場として計画された。用途上巨大になる建物ボリュームを単純形態に分割・細分化して、既存から繋がる大階段や広場の周囲に非連続的に配することで、群建築で構成された既存キャンパスとの調和を図った。また、この細分化と非連続性によって建物の至る所で緑と光と風を感じる空間を実現した。

メインアリーナの張弦ドーム構造は、一般的な張弦構造の下弦材が空間高さに制約を与えるという課題に対し、四隅から集中する中央ストリングを方形のリング状に立体構成することで空間高さを最大限確保している。38m×27mの楕円形のサブアリーナは、キールアーチとテンショナーリングによる立体キール構造を採用し下部構造の自由度と開放性を確保した。

この2つの屋根が地域交流のシンボルとして新たなスカイラインを形成することを願っている。

石原 政幸



24

vd.71



25

vd.71



25

vd.71



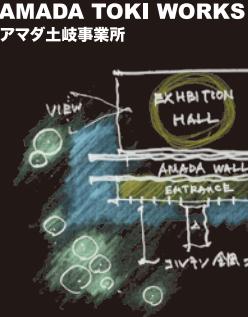
分散している研究部門を集約し、新たな収益源を生み出す拠点となるべく、ニッスイ東京イノベーションセンターは計画された。
ランドマーク性の獲得とコミュニケーションの創出が目標とされた。

計画地は緑深い武蔵野の森を背景に、新しく開発された住宅地が迫るエッジにあり、4フロアの建物全体を囲う「イノベーションゲート」を設けることでシンボル性を獲得している。

無柱大空間の実験室とリニア居室を隣接配置して効率的な平面計画とし、さらに各居室に2層の吹抜けを階段状に配置することで、階ごとに異なる部門の研究者同士のコミュニケーションの活性化を意図している。

第24回 日経ニューオフィス推進賞

大橋 一智

26
vd.7127
vd.71

本事業所は世界的な板金機械メーカーであるAMADAの工作機械中部地区製造拠点である。環境・省エネに配慮した先進的事業所を目指し、300KW太陽光発電システム、豊型蓄熱槽、地中熱空調熱源利用、LED照明をはじめとする環境技術の採用によりTC棟(テクニカルセンター)ゼロカーボンを実現した。

事業所の顔となるTC棟は、ショールーム、プレゼンテーション、接客の諸機能を備え、顧客に対し高度なソリューションを提供する場である。AMADAグループ諸施設に共通する“本物志向”的精神を受け継ぎ、素材そのものの質感を生かすデザインを心掛けた。

リズミカルに連続したコルテン鋼フレームに支えられたガラスボックスは周囲の風景を室内に取り込みながら、自然(空・水・緑)が写り込み重層した幻想的風景を生む。コンクリート打放しのAMADAウォールはショールームへ誘う結界であり、地産の陶器スクリーンが来訪者をあたたかく迎える。

本施設が高度なテクノロジー実現の場になるとともに、土岐という地域文化に根ざし、眞の意味で“おもてなし”的な場となることを切に願う。

和田 悟

PARK MANSION MITA HYUGAZAKA
パークマンション 三田日向坂



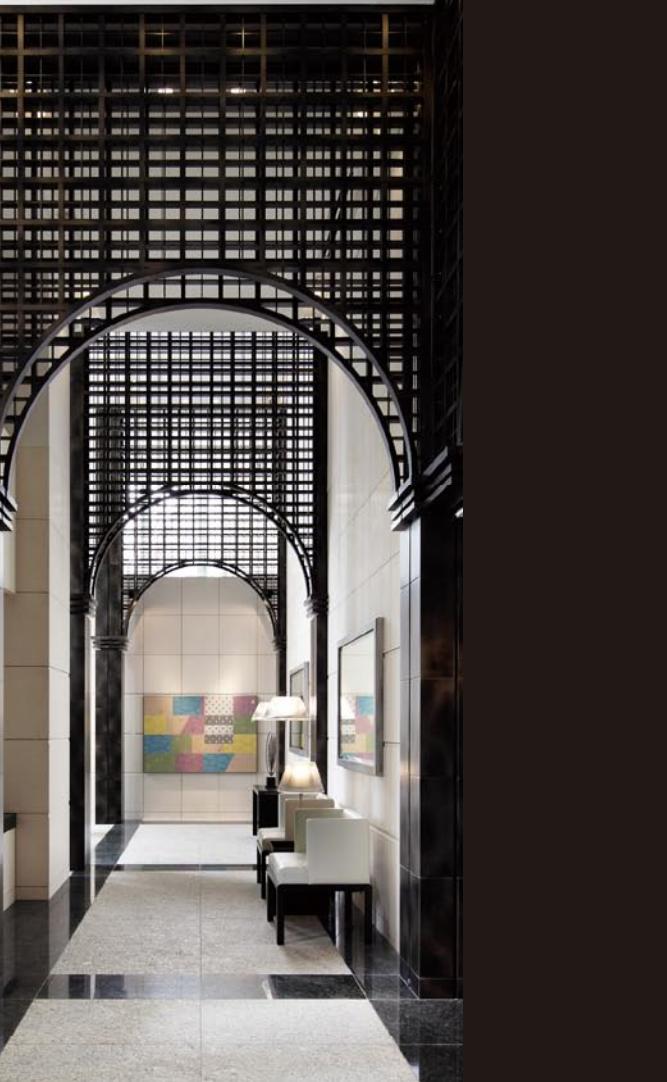
三井綱町俱楽部やオーストラリア大使館に近接する敷地は、由緒ある屋敷町として現在も尚、その情緒を保持する閑静で格調の高いエリアに位置している。

時を重ねた風格と緑の静けさが印象深い日向坂に面する建物のファサードデザインは、基壇部を大判の御影石により、格式が高く重厚で安心感のある設えとし、上層部を全面ガラスのカーテンウォールとして空に馴染ませる軽快な設えとした。対極的なマテリアルの採用が建物の圧迫感を低減させ上品な環境に相応しい落ち着きをもたらしている。

エントランスから各住戸までは、吹き抜けのコリドー上部に設けられた格子アーチと優雅な歩みを促すギャラリープロムナードにより、新しいものなしのかたちを見せる空間とし、住まいは、時を超えて価値の高まる「経年優化」を目指し、都心超高級物件の名に恥じない上品で優雅な住空間と、業界トップクラスのクオリティを持たせた。

「正統な邸宅」の創出を目指した建物である。

原田 洋



TKP
東京港湾福利厚生センター



羽田空港のハブ化がメディアに大きく取り上げられている。それに對し、国際物流の99%以上を占める港の重要性や、経済がグローバル化する中、発展著しいアジアの諸港に比べ、わが国の港湾の国際競争力が低下していることは、あまり報道されていない。

本建物は、東京港の国際競争力向上を目指した基盤施設の一つとして、東京港湾事業従事者の宿泊施設および、東京港の福利厚生事業を行う財団のオフィス、会議室、クリニックのコンプレックスとして計画された。また大震災等の災害時の港湾関係者の防災拠点としての役割を担っている。

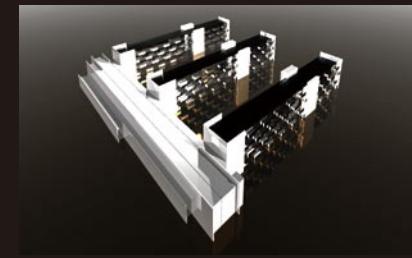
重層する異なる用途の施設とその動線を機能的にまとめるには困難なプロセスを要した。

外壁全面の仕上は、丁寧な手仕上げとしており、これが港の景観形成にわずかでも貢献し、そしてこの建物が東京港の発展に寄与することを願う。

井川 博英



KOMATSU AOJI DORMITORY
コマツ青路寮

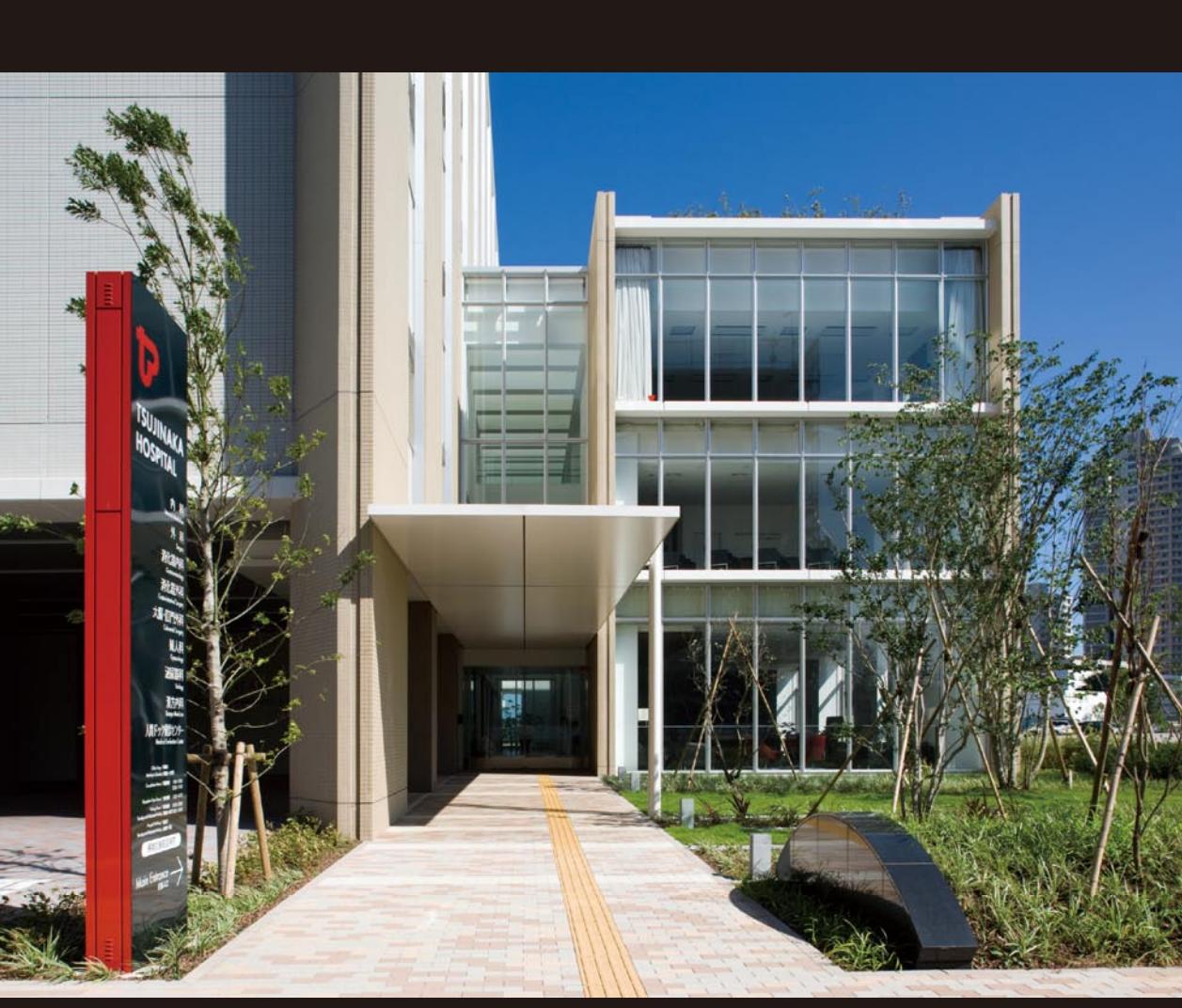
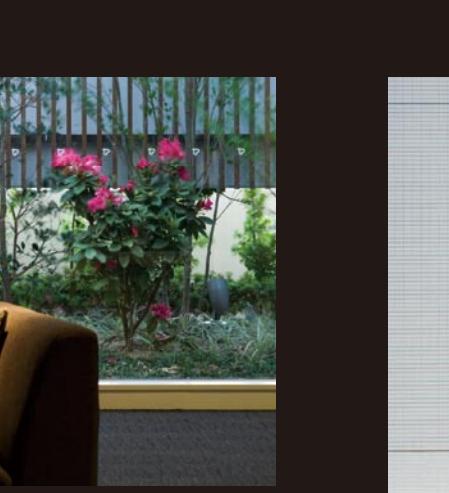


閑静な田園風景に囲まれた、地元を代表する企業の寮である。快適な寮生活を提供すると同時に、周辺環境との調和を図り、良好な景観づくりに寄与する施設づくりを行った。

建物の周囲に、近隣との中間領域として地域に開放されたパブリックスペースとしての緑地帯を設置し、憩いの場・子供の遊び場として提供すると共に避難拠点としての役割を担う場を創り出した。前面に2層建ての共用部・女子棟、後面に4層建ての男子棟を配置。セットバックしながら分割していく壁面構成は圧迫感を低減し、ゆるやかに周囲の環境と調和する。男子棟間に緑地庭園とスポーツコートを提供。寮生活にうるおいと賑わいの2種類の空間を提供した。

第12回こまつまちなみ景観賞
第32回石川建築賞優秀賞

片山 善博



TSUJINAKA HOSPITAL KASHIWANOHA
辻仲病院 柏の葉



千葉県柏市、つくばエクスプレス・柏の葉キャンパス駅前に位置する辻仲病院 柏の葉。
病気への不安を抱える患者のために、建物内外の随所に自然とのかかわりをテーマにした空間を創りこんだ。

同病院は高層棟と低層棟、両棟をつなぐホスピタルコリドーで構成されている。ホスピタルコリドーは、3層吹き抜けの空間。トップライトからは太陽の光が降り注ぎ、温かな光に満ちている。光はコリドー内の大きな壁面に影をつくり、形を変えながら時間の経過を映し出す。その様子を通じて、来院者は建物内にいながら自然を感じることができる。

地上部は季節の変化を感じられるようオリーブや夏みかんなど実のなる樹木を配した。低層棟の屋上には、病室や周辺の高層住宅部から俯瞰で眺めるための緑。高層棟最上階の屋上庭園は、家族との面会に利用されるカフェに面し、風にそよぐ木々越しに築波山を望むことができる。

院内の患者が外の自然を感じられるよう、設置する場所ごとに趣のことなる庭園をしつらえた。

穠並 和人



34

vd.71



35

vd.71



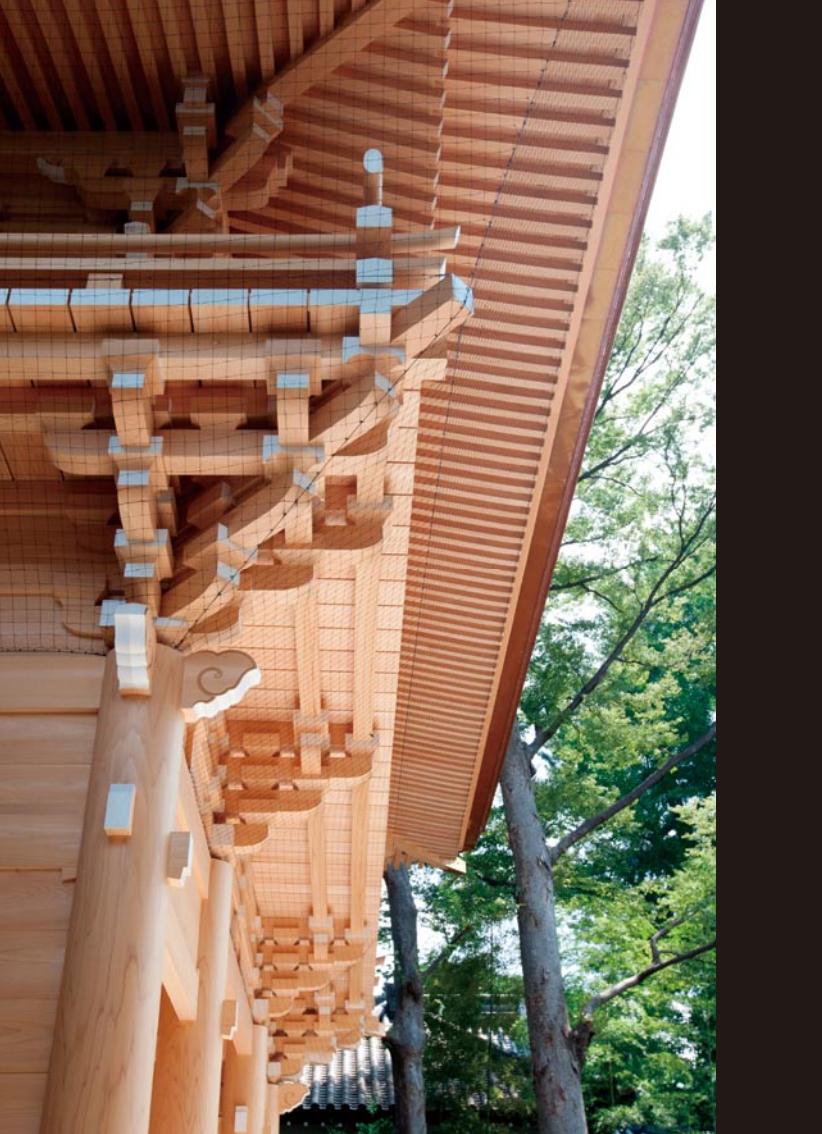
AEON MALL KOFUSHOWA
イオンモール甲府昭和



南に富士山、西に南アルプス連峰、北に八ヶ岳を望む、甲府市郊外、甲府盆地のほぼ中央に位置するショッピングモールである。総合スーパーを核店舗とし、3層吹き抜けのダイナミックなモール通路を挟んで大小約130店の専門店と9スクリーンを擁するシネマコンプレックスを持ち地域最大級の規模と集客力を誇る。外観・内装の環境デザインは地元山梨、甲府をイメージする「ふどう」や「もも」に代表されるフルーツなど豊かな自然の彩りをモダンにしつらえる「モダン・ナチュラリズム」をメインコンセプトとした。また、色鮮やかなコート廻りと対照的にワイン樽の古木と煉瓦が織りなす重厚感のある飲食街も施設のアクセントとなっている。

環境配慮型施設として日本初のソーラークリーリングシステムの導入をはじめ氷蓄熱システム、イオンの森の緑化など数多くの環境アイテムを取り入れている。全国各地に同様の施設を開発する中、地域の特性や常に新しい価値を探りしていく施主の姿勢には圧倒される。スピード感と知恵を絞り如何に答えていくかが最重要テーマであった。

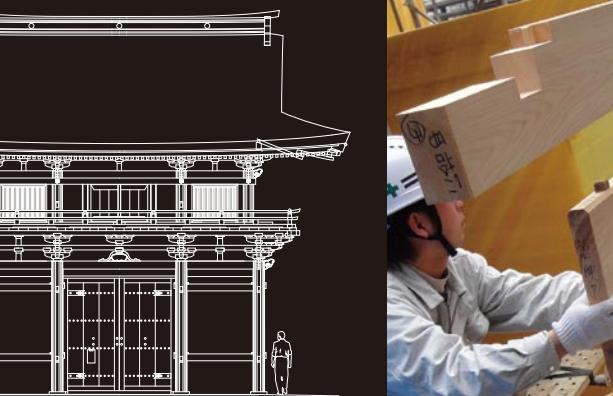
金澤 陽一



下層 隅の斗拱・和様三手先



上層 柱・頭貫・古代長押



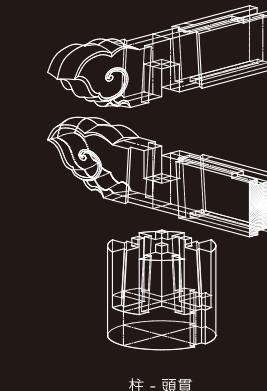
正面図



下層 耐力板壁(力板・力貫)



THE GATE OF
HACHIMANDAI SHRINE
八幡大神社 標門



柱 - 頭貫

約350年の歴史をもつ神社の標門。結界のため、既存拝殿の前に建立された。

端正な門として、やや木割を細くし、屋根と上層が重くならないように全体と部分を整え、軒廻りは、総反り、捻(ねじ)れ軒、反り出し勾配を採用、CADによるシミュレーション、現寸にて形の確認を行い、しなやかな姿を創出している。

壁の素地仕上を実現するため、建て方手順を丹念に検討し一部の貫と貫の間では力貫の下げ鎌を上げ鎌とし建物を組み上げることとした。また力板と力貫間に樋部倉矧(ひぶくらはぎ)の工夫を取り入れ木の反りによりすぎ間が目立つことを防ぎ、構造体=化粧の壁を切り立たせ、吉野檜の木肌の美しさを壁・軸部に表現した。

架構にはシミズオリジナルの改良仕口・耐力板壁・古代長押を採用し、建物の耐震性・耐久性の向上を図っている。

STRUCTURE DIAGNOSIS FOR THE EAST PAGODA IN YAKUSHI-JI TEMPLE

国宝薬師寺東塔構造診断



国宝薬師寺東塔は天平2年(西暦730年)の創建以来1,300年の間に、多くの深刻な地震や風雷等の自然災害に耐え、先人による一定の修理がなされてきた結果、当時の美しい姿を今日に伝えていく。平成22年度から10年間にわたる全解体修理事業がスタートし、その一環である構造診断に着手した。

自重、地震、及び風荷重に対する塔の変形特性や動的挙動を解明するためには、伝統木造の構造特性を反映した精緻な解析モデルを、架構調査と並行して構築することが必要となる。

裳階を有する独特な形態の三重塔は、構造的には身舎柱が地垂木上の柱盤を介して積み上げられるキャップ式構造となっている点に特徴がある。軒を支える構造システムや一部の意匠は創建当からの修理により変更されていることが判明しているが、過去の修理記録や今後の解体修理の過程で明らかとなる知見も含め塔の流れを読み解いていく。構造診断から得られた結果は、国宝薬師寺東塔保存修理事業専門委員会で参考され、修理の方針に反映される。

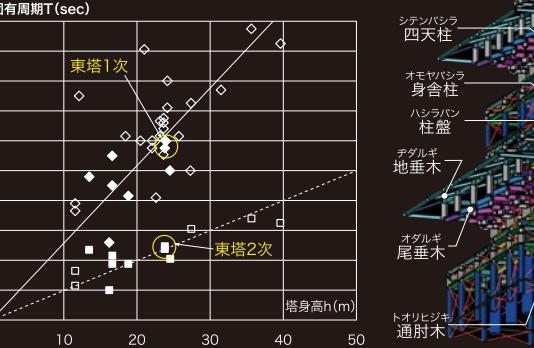
貞広 修

現地調査による基礎データの集積 (平成22年度実施)

地盤調査／測量調査／振動計測／架構・接合部外観調査



伽藍の三次元測量の結果



構造解析

(平成23年度実施)

複雑に積層する木造部材の力の流れを読み解きながら解析モデルを構築する。

振動特性の分析・評価

動的解析の基本となる固有周期・固有モードを振動計測結果と比較検討する。

(平成23年度実施)

構造解析

振動特性の分析・評価

(平成23年度実施)

振動特性の分析・評価

1st WEST BLD. REMM KAGOSHIMA
第1west BLD. レム鹿児島



calm + charge

remmブランドエッセンスマートキューブに
表される合理的で快適な室内空間を継承。
このホテルの持つ

「心地よい眠りへと誘う仕掛け」が齎す
静かな力に
疲れを洗い流し、活力を与えてくれる
水の力をプラス。

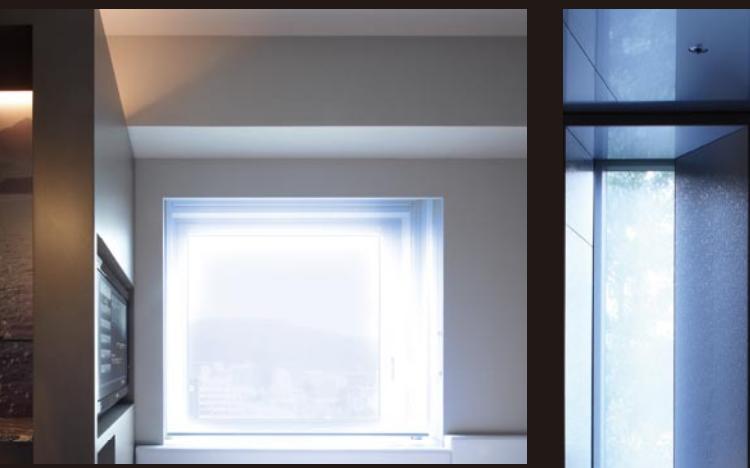
きらめきと潤いと静寂で満たすこと
で都会の中での浄化をうながす。

客室のリネンとシャワーユニットの白、
それを際立たせるためのユニトーンは
自然から抽出した色。

一つの色に包み込まれる心地よさを体感。
豊かな光は人の心を静かに解き放つ。

私たちよりも遙かに長い記憶をもつ
無垢の杉や桜島の溶岩は、
鹿児島らしいぬくもりと
心地よい高揚感を与えてくれる。

志村 美治



40
vd.71



41



41
vd.71

LA ROCHELLE SANNO
ラ・ロシェル山王



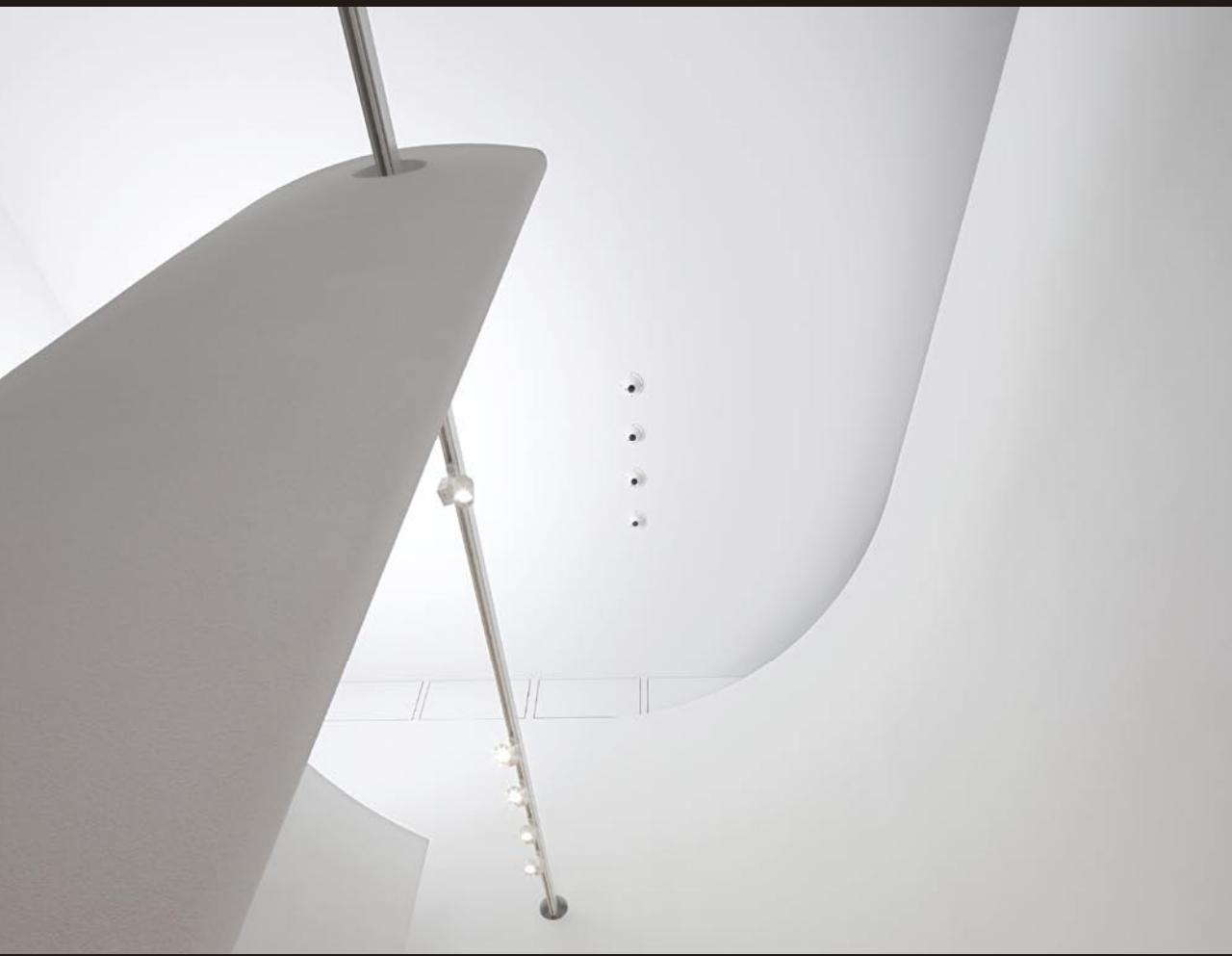
山王という地は、かの魯山人が美食を極めた高級
料亭、各国著名人に愛された名門ホテルなど、古
くから美食・社交の場としてその時代の最先端の
文化を発信する場であり続けている。その山王の
地にたつフレンチレストラン。

キーワードは「Rouge/Noir(赤と黒)」
エネルギッシュで革新的な赤、永遠に変わらず何
物にも染まらない美しさを持ち続ける黒。

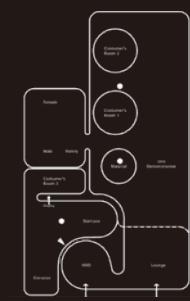
「伝統」と「斬新」、「仏のエスプリ」と「和のたしな
み」、日本の土壤と外国の風を豊かに取り入れ、コ
ラボレーションさせるフレンチの鉄人坂井宏行氏
の料理に対する思想をインテリアに表現した。そ
の新たなるしつらえ「フレンチ懐石」を五感で堪能
できる。

ディスプレイデザイン賞2011入選

滝田 智美

42
vd.7142
vd.7142
vd.7143
vd.71

DENTAL PLAZA FUKUOKA
デンタルプラザ福岡



「不变性」で「先進性」を包み込む

歯科医療総合商社
株式会社モリタ 福岡支店ショールーム

目指したのは
進化していくモリタのモノを
不变であるモリタのコトを包み込む事。
空間は可能な限りシームレスに、
ベースはインダイレクトな光で計画。
製品開発コンセプト
「テクノロジーは全て人中心であるべき」
というpd style(自然に逆らわない、
人として望ましい診療姿勢)の思想を
空間で表現する事で
商品と企業をデザインでつなぐ事。

大切な事を実体験で伝える
ここへきて体感する「コト」に「モノ」を
選ぶ以上の価値が生じるショールーム。

志村 美治

SHIMIZU CORPORATION HEAD OFFICE

清水建設 新本社プロジェクト

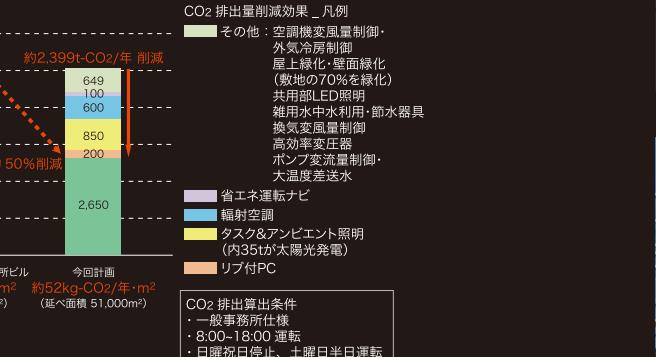


カーボンハーフを目指して

有限の地球、環境の時代といわれて久しいが、京都議定書の削減プログラムに反し、温暖化ガス排出量は増え続けている。持続可能な社会構造への転換には技術・制度・精神、三つの変革が不可欠である。そんな中、洞爺湖サミットにおいて2050年までに温暖化ガスを50%削減するという、世界共通の環境目標が宣言された。

新本社プロジェクトのテーマは「超環境オフィスの創造」である。最先端の建築・環境技術を結集しCO₂削減50%（東京都平均値比）をめざし、2050年を待たず世に送り出そうというのだ。しかし、50%といふとでもない数字を実現するのは並大抵のことではない。たくさんの新しい環境技術を開発、融合し、集合体として建築デザインへ昇華させなくてはならない。ここでは開発技術である、外部負荷を削減し発電機能を兼ね備えたハイブリッド外装システム、日本の気候風土に適したタスク&アンビエント輻射空調システム、太陽光を最大限に活用したエネルギー・オフセット照明システム、シミズ・マイクログリッドシステムについて紹介する。

見城　辰哉

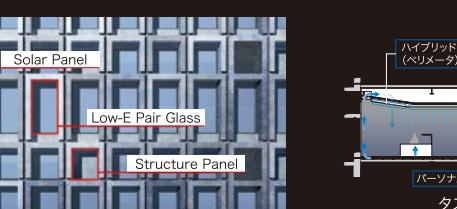


平成17年度東京都一般事務所ビル平均と今回計画との比較

ハイブリッド外装システム

中心部のコアウォールと外周フレームで内と外か建物を支える、新しいRC免震オフィスビルである。開口部の一部には太陽光パネルが約2,000m²組み込まれており、環境装置としての機能を合わせ持っている。

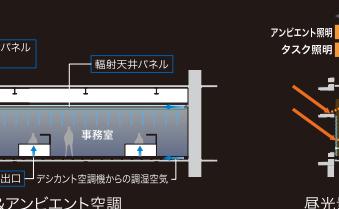
竹内 雅彦



タスク&アンビエント輻射空調システム

天井輻射パネルと人体との温度差により熱移動する物理特性を利用した空調システムである。温度・湿度・気流を個別に制御することで、日本の気候に適した快適なオフィス環境を実現し、省エネルギー性能の向上を図っている。

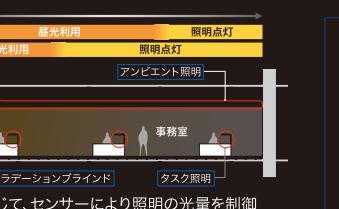
高橋 満博



エネルギー・オフセット照明システム

オフィス内の照明エネルギーを大幅に削減するシステムである。太陽光を積極的に採り込み、自然エネルギーを最大限利用する。このシステムにより、太陽光パネルの発電でオフィスの昼間の照明エネルギーを貯うことができる。

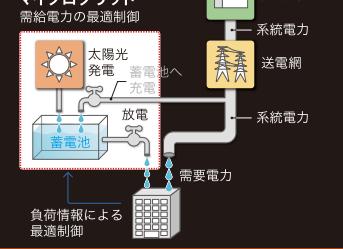
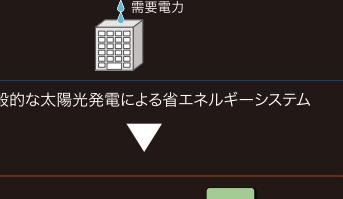
湊 敦



シミズ・マイクログリッドシステム

太陽光発電と蓄電池を組み合わせて商用電力との併用を行うマイクログリッドを導入した。マイクログリッドは次世代の低炭素社会を支えるスマートグリッドの実現に向け、その中核となる先行技術である。

湊 敦



マイクログリッドにより、電力の受給を最適制御した省エネルギー・システム

**THE ENVIRONMENTAL ISLAND
GREEN FLOAT**
環境アイランド グリーンフロート



「植物質な都市」がつくれないだろうか。2008年、清水建設のドリームプロジェクトとしてこの構想が生まれました。環境技術の中から人や地球にやさしい「植物質な」技術を選定し、「植物のように」CO₂を吸収する都市を目指します。太陽の恵みが豊富な赤道直下に直径3,000mの人工島を建設し、人々は標高1,000mの涼しい空中都市で生活します。太陽と大洋の恵みをうけ、海の幸と山の幸を育むことで、食糧自給率100%を可能とし、廃棄物をエネルギーに変換し、再資源化できる都市をめざします。そして、宇宙太陽光発電やCO₂海洋固定などの最先端技術を用いて、CO₂マイナスの都市を実現します。また、この都市は環境とのバランスの取れた状態で海の上で「植物のように」増殖することが可能です。

この構想は決して清水建設だけで実現できる計画ではありません。構想を発表してから3年間、世界に向けて情報を発信し、多くの企業や大学の方々から賛同を頂き、具体的な協定や研究会が発足しました。2025年の実現を目指して動き始めています。

吉田 郁夫



2008年1月

TRY2025全社プロジェクトチーム発足
(写真はチームメンバーの一部)
全社から選ばれたメンバーが一緒に夢の都市づくりを語り合った



2009年5月20日

「NEW FLOAT ISLAND SYMPOSIUM」沈みゆく太平洋の島国
及び野村證券株式会社との連携協力推進に関する包括連携協定書調印
し、「希望をもらった」と評価された



2010年5月10日

スーパー連携大学院協議会、清水建設株式会社及び野村證券株式会社との連携協力推進に関する包括連携協定書調印



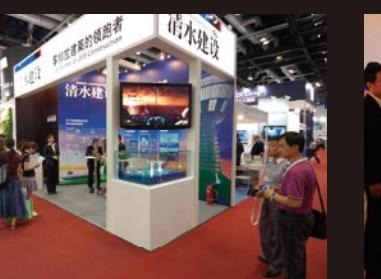
2009年～11年

エコプロダクツ展、イノベーションジャパン展、グリーンデバイス展など展示会7回、講演会26回、TV取材4回。シミズバリューの一環として情報を発信し続けている



2011年5月21日

カリフォルニアに本拠地を置き、幅広く世界に広めるべきと思われるアイデアのプレゼンテーションをする場を提供しているTEDグループに選ばれ、科学未来館にてリーダーの竹内真幸が講演



2011年6月1日～3日

環境と経済の統合をめざして開催された日中グリーンエキスポ2011(北京)において日本経団連の一員として、弊社ブースにおいて展示



2011年9月2日～10月23日

芸術監督アイウェイウェイ氏からの出展依頼に応じ、アジア最大級の韓国光州デザインビエンナーレなどの都市開発を想定した、接地面積が少ない「森に浮く」人工都市構想



2011年

陸上版GREEN FLOAT構想に着手。熱帯雨林地域などでの都市開発を想定した、接地面積が少ない「森に浮く」人工都市構想

PROMOTION OF RE-DEVELOPMENT PROJECTS

再開発事業の推進

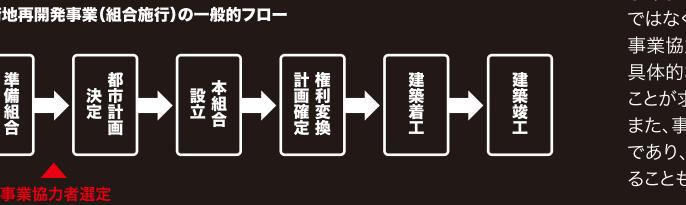


市街地再開発事業に参画し、初期段階からプロジェクトを推進するシミズ

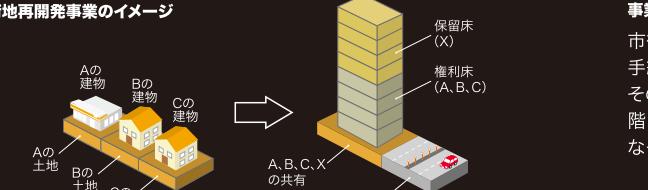
シミズは全国52地区の市街地再開発事業に事業協力者等として参画し、長期間にわたるプロジェクトを初期段階から推進している。

プロポーザル本部では、設計本部・環境・技術ソリューション本部、支店設計部等と連携し、事業協力者の選定段階における提案活動を支援している。

竹植 匡



市街地再開発事業(組合施行)の一般的フロー



B地区再開発事業(地方都市中心部)



C地区再開発事業(郊外駅前)



F地区再開発事業(郊外駅前)



K地区再開発事業(都心部)



提案のポイント

権利者の夢とアリティを提案

事業協力者選定の提案は権利者自らが審査することが多いので、権利者に訴えかけるポイントを絞り込むことが最も重要である。

権利者に夢を語ることも重要だが、その一方でアリティのある事業の提案も必要である。そのバランスが再開発事業を推進する事業協力者には必要とされる。

まちづくりの視点の重要性

権利者はまちの現状に満足しているわけではない。個々では実現できないまちづくりも再開発組合では可能になる。

周辺も含めた地域の特性を分析し、まちづくりのあるべき姿=理念を提案する。再開発事業では計画地だけではなく、地域全体の価値向上の提案が必要である。

ポイントは“わかりやすさ”

事業協力の段階では、再開発事業の大まな方向性しか決まっていないことが多い。計画の立案段階では、事業性や都市計画を考慮して用途や規模など施設のプログラムを設定する。建築の専門家ではない権利者にも、その設定をご理解いただけ るような分かりやすい提案が必要である。

秋山 茂

提案内容



事務局員派遣 権利者対応 近隣対応	資金立替	都市計画 施設計画 施工計画 環境・エネルギー 防災・BCP 等
-------------------------	------	--

取りまとめ



STUDY ABROAD

海外留学について



当社では、海外留学制度を取り入れて、豊富な知識と高い専門性を身につけた人材の育成に取り組んでいる。

大切にしているのは「自己の気づき」。日頃から業務に対する問題意識を持ち、それを解決するためには何を学べばいいのか、また学んだことをどう業務に生かせるのかといった、自分なりの考えをしきりともっている人を留学対象者としている。2000年以降では、設計・プロポーザル統括から世界各国の企業へ13件の留学を実施した。意匠・構造・設備など、さまざまな系統から候補者を選抜。今後の事業展開を踏まえた留学テーマに基づき、本人自らが受入先を選定し、留学委員会の承諾を得て決定する。世界トップクラスの実務家と、実際のプロジェクトを通じたさまざまな取り組みにより、最先端かつトップレベルの計画力、デザイン力、技術力の習得を目指してきた。その結果、日本では得られない、貴重な体験と想定した以上の収穫を得て帰国をしている。

帰国後は、留学先で得た経験、情報や技術を社内にフィードバックし、グローバル戦略にもとづき、専門性の高いものづくり、人づくりに生かしている。

設計・プロポーザル統括 企画管理部長
道江 純一

2009-2010 Moore Ruble Yudell Architects and Planner :
Santa Monica, California, United States

世界トップレベルの計画力・デザイン力を習得

「Mataとのコラボレートは、今日が最後だ。」留学最終日、留学先のプリンシパルアーキテクトが全体ミーティングで言った言葉。清水で培ったデザイン力は、海外の建築事務所でも十分に通用する。自分が「こうだ」と信じるモノがあれば、20代、30代であっても、それを主張し、議論するべきで、清水建設でもそのチャンスがゴロゴロしていることを再確認できた1年でもあった。

“Architecture is never a single person's brilliance. Vision is balance with the desires and capability of many people.”

ロックを聴きながら、模型を前にしたデザイン議論は一生忘れないと思う。青い空と海の白波とともに。

村上 又三郎



2010-2011 SOM : New York, United States

トップレベルの計画力・デザイン力を習得

国が違っても目指すものは同じである。しかし、やり方は場所によって違う。

SOMにはどの段階においても徹底的に3Dで検討し、形状を確認する姿勢があった。使うアプリケーションは何が良いのか考え、それを探し出す姿勢、またそれらを使いこなす、特定の能力に特化された各個人の高いスキル。レーザープリンター、3Dプリンターを担当者が使いこなす、日本とは全く違う模型の作り方。いくつかの超高層プロジェクトを担当したが、その初期段階でのオーバリュームに対する意識の高さにも思い知られた。

世界各国から集まった、意識の高い担当者が年齢に関わらず発言することを許され、それゆえに個人がプライドを持って働く環境の素晴らしさを感じた。

瀬尾 剛史



2010-2011 ingenhoven architects :
Dusseldorf, Germany

環境配慮型・サスティナブルな建築の提案のための
設計手法・プロセスの習得

環境配慮型の建築設計を多く手がけ、その取り組み方において先導している事務所での1年間は、今までシミズで培った技術や知識をさらに幅広く、かつ深めることとなった。目標に掲げていたトップレベルの提案力習得、今後想定される国内外の設計事務所と協働できるノウハウの蓄積、情報交換できる人脈の構築など、得られたものはとても大きい。ドイツのみならず多国籍からなる事務所では、言語や文化が異なっていてもコミュニケーションの良さがコンペに強く質の高いプロジェクトなど好循環を生み出していると実感した。今後は、仕事とプライベートの時間で習得した成果をシミズに展開し、特に組織力アップに貢献できればと思っている。

佐野 祐子



UNDER CONSTRUCTION PROJECT

建設中のプロジェクト



SEICHO-NO-IE OFFICE IN THE FOREST 生長の家 森の中のオフィス

自然エネルギーの積極的活用と、最先端の創エネルギー環境技術を結集し、CO₂排出ゼロ実現を目指す、八ヶ岳南麓に木造2階建てで計画中の“森の中のオフィス”である。

自然通風を最大限利用できる平面・断面計画、高断熱建築、太陽熱を利用したバッファ暖房システム、自然光とLED照明を最大限に利用した照明システムなどにより省エネルギー化を図っている。また高効率太陽光発電パネルを屋根全面に設置し、地元間伐材チップを利用した木質バイオマスガス化コーチェネレーションシステム、地元間伐材を利用した木質ペレットボイラなどによりエネルギーを創出する。更に自然エネルギーと蓄電池を制御するマイクログリッドシステムを採用し、常時から電力自給体制を構築することで、災害時の業務継続を可能としている。

山梨県産のカラマツ・杉を活用した木構造・木質空間の建築としており、FSC(森林管理協議会)のプロジェクト認証取得を目指している。

青木 裕一

2013年竣工予定
山梨県北杜市
延床面積：約8,400m²
地上2階、地下1階
構造：木造一部S造

stream DEW TREEHOUSE WORKSHOP

stream DEW ツリーハウスクロップ

streamDEW委員会ではメンバーの自由かつ主体的な提案により、ワークショップや建築の視察、ドキュメントの作成など様々な企画を行っている。

「フィールドに出て自らのづくりを行い、環境やライフスタイルについて考える。」

2009年に山中湖村・淡路島に製作したstreamDEWツリーハウスを発展させ、streamDEW・清水建設北海道支店・北海道大学の産学協働プロジェクトとして、企画・設計・建設までを一貫して行うワークショップを実施した。



2010.09-11

北海道大学敷地内のケヤキに宿るツリーハウスを作製した。遠く離れた東京と札幌をTV会議で繋ぎ、若手社員と学生らの活発な議論のもと計画が進められた。樹や地面を傷つけないように組まれた吊り構造のフレームを落ち葉ユニットで覆った「落ち葉のツリーハウス」は、地元メディアにも取り上げられ、約1,000人の見学者が訪れた。

※主催：streamDEW／清水建設北海道支店
北海道大学建築計画学研究室



2011.07-09

札幌芸術の森主催のイベント「JUNIOR CHALLENGE JAM 2011」に合せ、ワークショップを開催した。

一般参加の子供たちと一緒に考えた「動物たちが集まる木の上の教室」は、ランダムに積み重ねた木のフレームの間から光が差し込む温かみある空間となった。地元メディアにも取り上げられ、約1,600人の見学者が訪れた。

※主催：清水建設北海道支店／北海道大学建築計画学研究室
協力：streamDEW／清水建設東京木工場



日本HP本社²
建築主：株式会社NIPPO
主要用途：事務所
敷地面積：19,123.60m²
建築面積：6,726.11m²
延床面積：44,532.40m²
構造：RC造
規模：地上4階
竣工年：2011年
所在地：東京都中央区大島二丁目



日本橋本町 MK-SQUARE³
建築主：株式会社恒心社・M&K特定目的会社
主要用途：事務所
敷地面積：1,192.36m²
建築面積：1,348.96m²
延床面積：839.91m²
構造：S造
規模：地上2階
竣工年：2011年
所在地：東京都中央区日本橋3-5-12



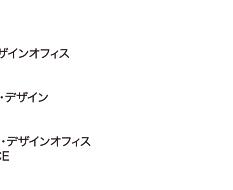
パークマンション 三田日向坂³
建築主：株式会社アーティザン・プロジェクトマネージャー・三井不動産株式会社
主要用途：集合住宅
敷地面積：1,160.21m²
建築面積：800.46m²
延床面積：3,894.77m²
構造：RC造
規模：地上15階・地下2階・塔屋2階
竣工年：2011年
所在地：東京都中央区日本橋3-5-12



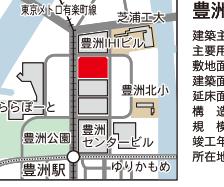
八幡大神社 横門
建築主：宗教法人八幡大神社
主要用途：神社(横門)
敷地面積：5,760.40m²
建築面積：70.03m²
延床面積：30.12m²
構造：木造
規模：地平建
竣工年：2011年
所在地：東京都三鷹市下連雀4-18-23



デンタルプラザ福岡⁴
建築主：株式会社ミリタ
主要用途：事務所・ショールーム
敷地面積：2,193.21m²
建築面積：917.43m²
延床面積：3,477.64m²
構造：S造
規模：地上2階
竣工年：2011年
所在地：福岡県福岡市東区松島1-31-10



***1 他社協働(設計:清水建設)**
豊洲キューピックガーデン
インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
ワークプレス・創始デザイン研究所
FMコンサルティング：松岡総合研究所
サインデザイン：エモーション・スペース・デザイン
ライティングデザイン：ICE
ランドスケープデザイン：ブレイズスタイル
アート：TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE
アーティスト：金沢健一・岸本真之
流通経済大学 スポーツ健康センター
サインデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
東京港湾福利厚生センター
サインデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
コマツ青路寮
イオンモール甲府昭和
第1West BLD. レム鹿児島
ラ・ロシェル 山王
日本HP本社
アマダ土岐事業所
浅草寺本堂 外部改修工事³
コマツ青路寮¹
流通経済大学 スポーツ健康センター¹
SIA 豊洲プライムスクエア²
日本水産 東京イノベーションセンター²
ダイコク電機本社ビル
ニッセイ池袋ビル²
アマダ土岐事業所²
パークマンション 三田日向坂³
八幡大神社 横門
デンタルプラザ福岡⁴
*1 他社協働(設計:清水建設)
*2 他社協働(設計:清水建設)
*3 他社協働
*4 他社協働(設計:清水建設)



豊洲キューピックガーデン¹
建築主：第一生命保険株式会社
主要用途：貸事務所
敷地面積：16,242.60m²
建築面積：9,015.10m²
延床面積：98,805.96m²
構造：S造・柱CFT造・一部SRC造・中間免震構造
規模：地上14階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：東京都江東区豊洲3-2-3



伊豆ペロドローム
建築主：財団法人日本サイクリングスポーツセンター
主要用途：自転車競技場
敷地面積：48,933.93m²
建築面積：9,166.37m²
延床面積：13,175.17m²
構造：RC造・S造
規模：地上3階・地下1階
竣工年：2011年
所在地：静岡県伊豆市大野中ノ沢道添1830-141の一部



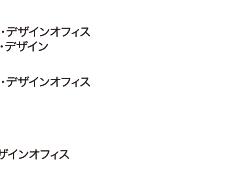
東京港湾福利厚生センター¹
建築主：財団法人東京港湾福利厚生協会
主要用途：宿泊施設・事務所・会議室・診療所
敷地面積：1,419.93m²
建築面積：752.64m²
延床面積：5,848.12m²
構造：RC造
規模：地上3階・地下1階
竣工年：2011年
所在地：東京都港区海岸3-9-5



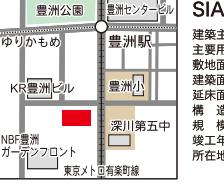
国宝薬師寺東塔 構造診断
建築主：薬師寺
主要用途：塔
敷地面積：1,419.93m²
建築面積：33.45坪(110.57m²)
延床面積：25.38坪(83.90m²)
構造：RC造
規模：三重塔・總高さ34.13m(基壇から相輪頂部まで)
竣工年：2010年～
所在地：奈良県奈良市西ノ京町457



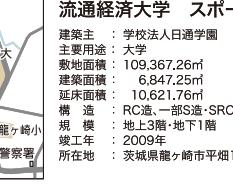
清水建設 新本社プロジェクト
建築主：清水建設株式会社
主要用途：事務所
敷地面積：約3,000m²
建築面積：約2,200m²
延床面積：約51,800m²
構造：免震構造・RC造・一部SRC造
規模：地上22階・地下3階・塔屋1階
竣工年：2012年竣工予定
所在地：東京都中央区京橋2-16



東京港湾福利厚生センター
サインデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
コマツ青路寮
イオンモール甲府昭和
第1West BLD. レム鹿児島
ラ・ロシェル 山王
日本HP本社
アマダ土岐事業所
浅草寺本堂 外部改修工事³
コマツ青路寮¹
流通経済大学 スポーツ健康センター¹
SIA 豊洲プライムスクエア²
日本水産 東京イノベーションセンター²
ダイコク電機本社ビル
ニッセイ池袋ビル²
アマダ土岐事業所²
パークマンション 三田日向坂³
八幡大神社 横門
デンタルプラザ福岡⁴
*1 他社協働(設計:清水建設)
*2 他社協働(設計:清水建設)
*3 他社協働
*4 他社協働(設計:清水建設)



SIA 豊洲プライムスクエア²
建築主：シンプレクス・インベストメント・アドバイザーズ
主要用途：事務所・物販店・飲食店
敷地面積：10,255.07m²
建築面積：3,902.56m²
延床面積：42,483.25m²
構造：S造(CFT)
規模：地上13階
竣工年：2010年
所在地：東京都江東区豊洲5-6-36



流通経済大学 スポーツ健康センター¹
建築主：学校法人日通学院
主要用途：大学
敷地面積：10,367.26m²
建築面積：6,847.25m²
延床面積：10,621.76m²
構造：RC造・S造・SRC造
規模：地上13階
竣工年：2009年
所在地：茨城県龍ヶ崎市平畠120



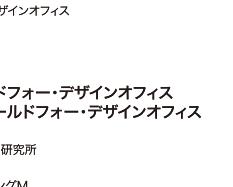
コマツ青路寮¹
建築主：株式会社小松製作所
主要用途：社員寮
敷地面積：21,528.65m²
建築面積：2,943.15m²
延床面積：7,439.15m²
構造：RC造
規模：地上3階・地下1階
竣工年：2010年
所在地：石川県小松市青路町131



浅草寺本堂 外部改修工事³
建築主：宗教法人浅草寺
主要用途：寺院
敷地面積：45,443.11m²
建築面積：2,103.58m²
延床面積：3,106.38m²
構造：SRC造
規模：地上3階
竣工年：竣工:1958年・改修:2010年
所在地：東京都台東区浅草2-3-1



第1West BLD. レム鹿児島¹
建築主：株式会社エモーション・阪急阪神ホテルズ
主要用途：ホテル
敷地面積：3,300.88m²
建築面積：2,143.38m²
延床面積：12,130.66m²
構造：RC造・一部S造
規模：地上4階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2009年
所在地：千葉県柏市若柴178-2 柏の葉キャンパス148街区6



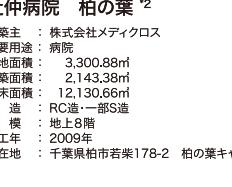
***2 他社協働(設計:清水建設)**
インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
ランドスケープデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
日本HP本社
アマダ土岐事業所
浅草寺本堂 外部改修工事
竣工時設計者：大岡実



ダイコク電機本社ビル
建築主：ダイコク電機株式会社
主要用途：事務所
敷地面積：2,365.50m²
建築面積：1,037.67m²
延床面積：6,697.25m²
構造：S造
規模：地上7階
竣工年：2011年
所在地：愛知県名古屋市中村区那古野1-43-5



日本水産 東京イノベーションセンター²
建築主：日本水産株式会社
主要用途：研究所
敷地面積：1,975.14m²
建築面積：1,039.92m²
延床面積：21,912.36m²
構造：S造(CFT)およびS造・一部SRC造
規模：地上21階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：東京都豊島区東池袋1-24



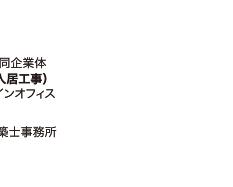
辻伸病院 柏の葉²
建築主：株式会社メディクロス
主要用途：病院
敷地面積：24,803.38m²
建築面積：4,939.65m²
延床面積：13,462.63m²
構造：RCSS造・S造
規模：地上4階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2010年
所在地：東京都八王子市七国1-32-3



第1West BLD. レム鹿児島¹
建築主：株式会社エモーション・阪急阪神ホテルズ
主要用途：ホテル
敷地面積：1,480.54m²
建築面積：653.72m²
延床面積：8,325.51m²(ホテル:7,834.98m², タワーパーキング:490.53m²)
構造：柱:SRC造・梁:SRC造
規模：地上13階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：鹿児島県鹿児島市東千石町1-32



1West BLD. レム鹿児島¹
建築主：株式会社エモーション・阪急阪神ホテルズ
主要用途：ホテル
敷地面積：1,480.54m²
建築面積：653.72m²
延床面積：8,325.51m²(ホテル:7,834.98m², タワーパーキング:490.53m²)
構造：柱:SRC造・梁:SRC造
規模：地上13階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：鹿児島県鹿児島市東千石町1-32



***3 他社協働**
日本橋本町 MK-SQUARE
日本橋本町 MK-SQUARE
設計：プランティック・清水建設設計監理共同企業体
D社エゼクティブプロア(D社テナント入居工事)
設計：清水建設+フィールドフォー・デザインオフィス
パークマンション 三田日向坂
デザイン監修：ミサワソシエイツ一級建築士事務所
浅草寺本堂 外部改修工事
竣工時設計者：大岡実



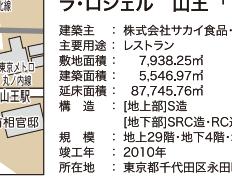
ニッセイ池袋ビル²
建築主：日本生命保険相互会社・清水建設株式会社投資開発本部
主要用途：事務所・店舗
敷地面積：1,975.14m²
建築面積：1,039.92m²
延床面積：21,912.36m²
構造：S造(CFT)およびS造・一部SRC造
規模：地上21階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：東京都豊島区東池袋1-24



アマダ土岐事業所²
建築主：株式会社アマダ
主要用途：工場・ショールーム
敷地面積：1,975.65m²
建築面積：34,715.85m²
延床面積：39,899.79m²
構造：S造・一部SRC造・一部RC造
規模：地上21階・地下1階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：岐阜県土岐市泉町久尻字北山1431-37



イオンモール甲府昭和¹
建築主：イオンモール株式会社
主要用途：物販店舗・飲食店舗・映画館・ゲームセンター
敷地面積：104,034.16m²
建築面積：28,653.02m²
延床面積：71,675.65m²
構造：RCSS造
規模：地上2階・塔屋1階
竣工年：2011年
所在地：山梨県甲府市昭和1街区



ラ・ロシェル 山王¹
建築主：株式会社サカイ・食品・東急・京急電鉄
主要用途：レストラン
敷地面積：7,938.25m²
建築面積：5,546.97m²
延床面積：8,774.75m²
構造：地上1部S造
規模：地下1部SRC造・RC造
竣工年：地上29階・地下4階・塔屋3階
所在地：東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピタルタワー1F



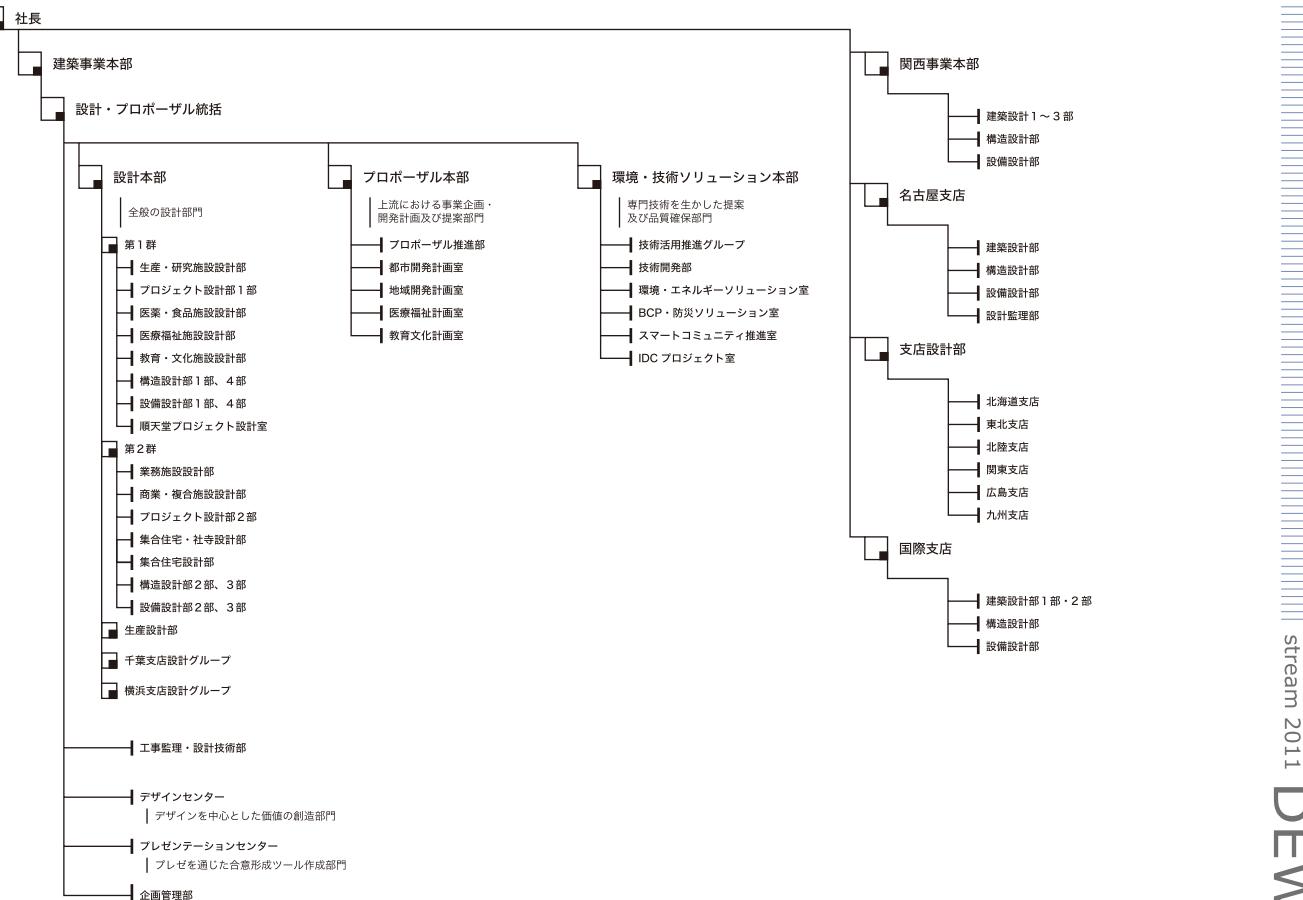
***4 インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス**
デンタルプラザ福岡
設計：森田設計
ライティングデザイン：ライトデザイン
※特記のなきものは全て設計：清水建設



***1 他社協働(設計:清水建設)**
豊洲キューピックガーデン
インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
ワークプレス・創始デザイン研究所
FMコンサルティング：松岡総合研究所
サインデザイン：エモーション・スペース・デザイン
ライティングデザイン：ICE
ランドスケープデザイン：ブレイズスタイル
アート：TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE
アーティスト：金沢健一・岸本真之
流通経済大学 スポーツ健康センター
サインデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
東京港湾福利厚生センター
サインデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
コマツ青路寮
ランドスケープデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
イオンモール甲府昭和
環境デザイン：ディ・ブレイン研究所
第1West BLD. レム鹿児島
インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
ランドスケープデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
日本HP本社
ライティングデザイン：ICE 都市環境照明研究所
アマダ土岐事業所
ライティングデザイン：株式会社ライティングM
浅草寺本堂 外部改修工事
竣工時設計者：大岡実



***2 他社協働(設計:清水建設)**
インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
ランドスケープデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス
日本HP本社
アマダ土岐事業所
浅草寺本堂 外部改修工事
竣工時設計者：大岡実



委 員 長 藤本 裕之
 副 委 員 長 井川 博英
 大西 宏明
 黒田 健一
 委 員 猪股 悠
 大柳 聰
 北村 信之
 久保山 寛之
 佐野 祐子
 重松 英幸
 清水 郁江
 長澤 怜
 平井 祥子
 福島 北斗
 間島 梢
 宮崎 俊亮
 滝田 智美
 事 務 局 吉田 郁夫

発 行 日 2011年12月
 編集・発行 清水建設株式会社
 //設計・プロポーザル統括
 〒105-8007 港区芝浦1-2-3
 03-5441-1111(代)
 設計事務局 設計・プロポーザル統括
 企画管理部
 印 刷 所 (株)ビーディーシステム
 年1回発行予定

非売品

56
vol.71